

**M-AUDIO®**

**M-TRACK 2X2  
VOCAL STUDIO PRO**

---

ユーザーガイド

安全にお使いいただくために

## この取扱説明書で使用している危険防止のマーク



このマークは、操作とメンテナンスにおける重要な指示があることを示しています。



このマークは、適切な電圧で機器を使用しないと、感電の恐れがあるという警告です。



このマークは、ご利用の出力コネクタが感電を起こす恐れのある電圧を含んでいるという警告です。



製品をご使用の際は、使用上の注意に従ってください。



- 注意事項を読んでください。
- 注意事項を守ってください。
- すべての警告に従ってください。
- すべての注意事項に従ってください。
- 水の近くで使用しないでください。
- お手入れの際は、乾いた布を使用してください。液体洗剤は、フロントパネルのコントロール装置を損なったり、危険な状態を招いたりする恐れがあるので、使用しないでください。
- 取扱説明書に従って設置してください。
- 暖房器具や調理器具、アンプを含むそのほかの音楽機器など、熱を生じる機器の近くには、置かないでください。
- 電源プラグは、危険防止のために、正しく使用してください。アース端子付の電源プラグは、2つのブレードのほかに棒状のアース端子が付いています。これは、安全のためのものです。ご利用のコンセント差込口の形状に合わないときは、専門の業者にコンセントの取り替えを依頼してください。
- 電源コードを誤って踏んだり、挟んだりしないように注意してください。特にプラグ部、コンセント差込口、本装置の出力部分に注意してください。
- 付属品は、メーカーが指定しているものを使用してください。
- 音響機器専用の台車、スタンド、ブラケット、テーブルに載せて使用してください。設置の際、ケーブルの接続や装置の設置方法が、損傷や故障の原因にならないよう注意してください。
- 雷が鳴っているときや、長時間使用しないときは、プラグを抜いてください。
- 修理やアフター・サービスについては、専用窓口にお問い合わせください。電源コードやプラグが損傷したとき、装置の上に液体をこぼしたり、物を落としたりしたとき、装置が雨や湿気にさらされたとき、正常に動作しないとき等、故障の際は、修理が必要となります。
- 本装置は、正常に動作していても熱を発生しますので、周辺機器とは最低15センチ離し、風通しの良い場所でご利用ください。
- 本装置をアンプに接続して、ヘッドホンやスピーカーで長時間、大音量で使用すると、難聴になる恐れがあります（聴力低下や、耳鳴りを感じたら、専門の医師にご相談ください）。
- 水がかかるような場所に置かないでください。花瓶、缶飲料、コーヒーカップなど、液体が入ったものを本装置の上に置かないでください。
- 警告：火災や感電防止のため、雨や湿気にさらさないでください。

[ WEB ] <http://inmusicbrands.jp/m-audio/>

# M-AUDIO

<お問い合わせ>

inMusic Japan 株式会社  
カスタマー・サポート部

〒106-0047 東京都港区南麻布 3-19-23

オーク南麻布ビルディング 6階

TEL: 03-6277-2231 FAX: 03-6277-0025

## ユーザーガイド

### はじめに

#### 同梱品

- ・ M-Track 2×2 本体
- ・ NOVA Black ミクロホン本体
- ・ XLR ケーブル
- ・ ショックマウント
- ・ ウインドスクリーン
- ・ HDH40 ヘッドホン本体
- ・ USB-C > USB-C ケーブル
- ・ USB-C > USB-A ケーブル
- ・ Software Download Cards(英文)
- ・ ユーザーガイド
- ・ Safety & Warranty Manual(英文)

#### Support

本製品の最新情報（システム要件や互換性情報など）や、修理・サポートにつきましては、M-AUDIO のホームページ（[m-audio.jp](http://m-audio.jp)）をご確認ください。

### セットアップ

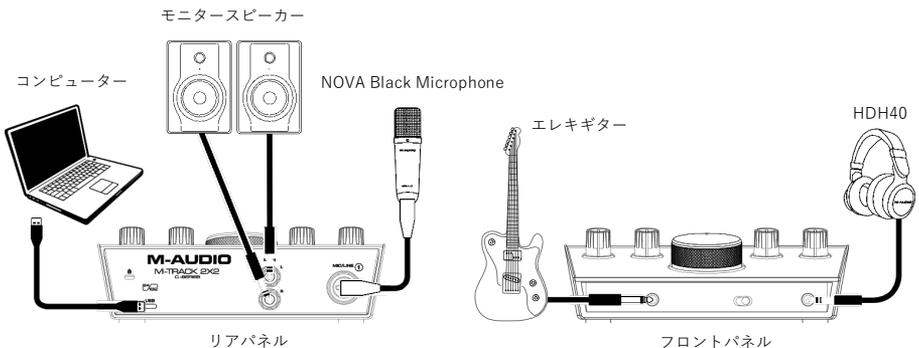
**Windows をお使いの方は：** M-Track 2X2 をコンピューターに接続する前にドライバーをインストールする 必要があります

1. M-AUDIO のホームページ（[m-audio.jp](http://m-audio.jp)）から、**M-Track 2X2 Vocal Studio Pro** の製品ページにアクセスし、最新のドライバーをダウンロードします。
2. ダウンロードしたファイルをダブルクリックで開き、インストーラーを開きます。
3. 画面の指示に従って、ドライバーをインストールします。

注意：

- お使いの DAW のオーディオデバイスの設定画面で、M-Track 2X2 を選択する必要があります。
- ファンタム電源を必要とするマイクには、+48V（ファンタム電源）スイッチでファンタム電源をオンにする必要があります。多くのダイナミックマイクはファンタム電源を必要としませんが、多くのコンデンサーマイクは電源を必要とします。お使いのマイクの説明書などをご確認の上、ご使用ください。

#### 接続例



同梱リストにないものは別売りです。

## オーディオのセットアップ

**Windows ユーザー:** M-Track 2x2 をコンピュータに接続する前に、ドライバーをインストールしてください。

1. M-Track 2x2 Vocal Studio Pro の製品ページ (<http://inmusicbrands.jp/m-audio/m-track-2x2-vocal-studio-pro/>) にアクセスし、お使いのオペレーティングシステム用の最新の M-Track 2x2 ドライバーをダウンロードします。
2. ダウンロードしたファイルを開き、ドライバーインストーラファイルをダブルクリックします。
3. **End-User License Agreement**(使用許諾契約書)を読み、**Agree**(同意する)にチェックを入れ、**Next** をクリックして続行します。
4. **Install** をクリックしてインストールを開始します。インストール中に M-Track 2x2 をコンピュータに接続するよう求められることがあります。インストール中に他のシステムメッセージが表示されたら、**Install** をクリックします。
5. インストールが完了したら、**Finish** をクリックします。 .

Windows ドライバーを使用するには、**M-Audio M-Track 2x2 コントロールパネル**を開きます。ここでは、優先するバッファサイズとサンプルレートを設定できます。

M-Track 2x2 をデフォルトの再生デバイスとして設定するには、コンピューターのオペレーションシステムに基づいて以下の指示に従ってください。

### Windows:

1. 付属の USB ケーブルを使用して、M-Track 2X2 をコンピュータに接続します。
2. タスクバーで、**ボリュームコントロール**のスピーカーアイコンを探します。スピーカーを右クリックし、**再生デバイス**を選択します。  
または、**スタートメニュー > コントロールパネル** (またはクラシック表示で、**設定 > コントロールパネル**) **> ハードウェアとサウンド > サウンド**に移動します。
3. Windows の**サウンド**パネルで、**再生**タブを選択し、デフォルトのデバイスとして **M-Track 2x2** を選択します。
4. 録音タブをクリックし、デフォルトのデバイスとして **M-Track 2x2** を選択します。
5. 右下隅の**プロパティ**をクリックします。
6. 新しいウィンドウで、**詳細設定**タブをクリックし、デフォルトのフォーマットとして **2ch、24bit、48kHz (スタジオ品質)** を選択します。
7. **排他モード (Exclusive Mode)**の両方のチェックボックスをオフにします。
8. **OK** をクリックしてプロパティウィンドウを閉じます。
9. **OK** をクリックしてサウンドパネルを閉じます。

**Mac OS X :**

1. 付属の USB ケーブルを使用して、M-Track 2x2 をコンピュータに接続します。
2. **アプリケーション > ユーティリティ > オーディオ MIDI 設定**に進みます。
3. **オーディオデバイスウィンドウ**で、左の列の **M-Track 2x2** を選択します。
4. **M-Track 2x2** を右クリックし、**このデバイスをサウンド入力に使用**を選択します。
5. **M-Track 2x2** を右クリックし、**このデバイスをサウンド出力に使用**を選択します。
6. オーディオ MIDI セットアップを終了します。

**ソフトウェアで M-Track 2x2 をセットアップする**

オーディオソフトウェアプログラムが M-Track 2x2 から音声を受信するように設定されていることを確認してください。これは、ソフトウェアの環境設定、デバイス設定、またはオプションで実行できます。詳細については、ソフトウェアのマニュアルを参照してください。

Cubase LE を使用して M-Track 2x2 をセットアップするには :

1. 付属の USB ケーブルを使用して、M-Track 2x2 をコンピュータに接続します。
2. Cubase LE を開きます。
3. **Devices > Device Setup** に進み、ウィンドウの左側にある **VST Audio System** をクリックします。
4. 上部のドロップダウンメニューを開き、**M-Audio M-Track 2x2 ASIO** を選択します。スイッチをクリックして確認します。  
**注：Mac ユーザーの場合は、M-Audio M-Track 2x2 を選択してください。**
5. **OK** をクリックしてデバイス設定ウィンドウを閉じます。

オーディオトラックを追加して、M-Track 2x2 入りに接続されたソースからオーディオを受信し、M-Track 2x2 の出力を通して録音したオーディオをストリーミングすることができます。

## 特徴

## トップパネル

**1. INPUT GAIN ノブ：**このノブで入力ゲインを調整します。ノブの下の LED メーターを確認しながら、なるべく CLIP が点灯しない（音が歪まない程度に）ゲインを調整します。

**2. LED メーター：**背面のコンボ入力端子または前面の INSTRUMENT 入力端子からの入力レベルを表示します。

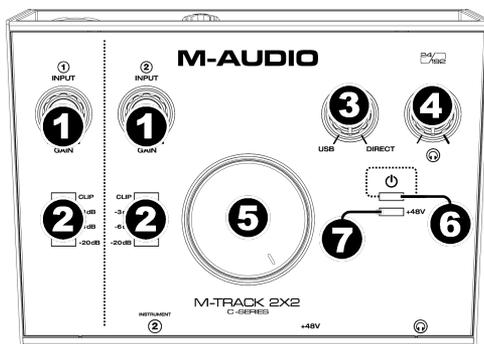
**3. USB/DIRECT ブレンド・ノブ：**入力端子からのオーディオ信号（DIRECT）とコンピューターからの信号（USB）のバランスを調整して、MAIN 出力端子およびヘッドホン端子に送出します。このノブは、DAW に録音する際の音の遅れ（レイテンシー）を解消するのに有効です。レイテンシーは、楽器や歌などの入力される信号と、コンピューターの DAW を経由して出力される信号との間に起きる、音の遅れです。レイテンシーは、通常、DAW のサウンド設定画面の「バッファーサイズ」に関連します。バッファーサイズを大きい値に設定すると、レイテンシーも大きくなり、またバッファーサイズを小さい値に設定すると、レイテンシーも小さくなります。但し、バッファーサイズを小さい値に設定すると、その分コンピューターの CPU に負荷がかかり、ノイズが発生したりしますので、その場合には、バッファーサイズを少し大きい値に設定し直す必要があります。もし録音中にレイテンシーを感じた場合、このノブを DIRECT 側に回すことで、入力している音声をダイレクトに MAIN 出力端子およびヘッドホン端子に送出することができます。この機能を使えば、DAW から出力される楽器の伴奏を聴きながら、レイテンシーを感じずに自分の歌を録音することが可能です。録音後、DAW の再生音を聴く場合には、このノブを USB 側に回し切ります。お使いのコンピューターが十分にパワフルで、バッファーサイズの調整だけでレイテンシーを解消できる場合には、このノブは USB 側に回し切ったままで使用してもよいでしょう。

**4. ヘッドホンレベル・ノブ：**このノブで、ヘッドホン出力レベルを調整します。

**5. モニターレベル・ノブ：**このノブで、MAIN 出力端子から出力されるレベルを調整します。

**6. POWER LED：**USB ケーブルでコンピューターと接続し、コンピューターに M-Track 2X2 が認識されるとこの LED が点灯します。

**7. +48V（ファンタム電源）LED：**ファンタム電源がオンの場合にこの LED が点灯します



## リアパネル

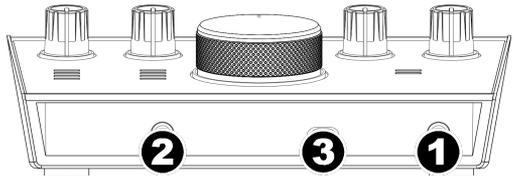
1. **USB 端子 (タイプ C)** : 付属の「USB-C > USB-C ケーブル」または「USB-C > USB-A ケーブル」を使用して、コンピューターのUSB端子に接続します。M-Track 2X2との接続には、USB 2.0 以上の端子が必要です。



2. **コンボ入力端子①** : この端子に、マイク、ギターやベースのアクティブピックアップ（ローインピーダンス）の信号、ラインレベルの信号などを接続します。マイクには、XLRまたは1/4" TRS ケーブルを、ギターやベースのアクティブピックアップには、標準的な1/4" TS ケーブルを、ラインレベルの信号には1/4" TRS ケーブルを使用します。入力された信号は、LEDメーターに表示されます。
3. **MAIN 出力端子** : 標準的な1/4" TRSケーブルを使用して、この端子とパワードモニタースピーカーやアンプなどに接続します。音量はモニターレベル・ノブで調整します。
4. **Kensington Lock スロット** : Kensington Lock を使用する際に接続します。

## フロントパネル

1. **ヘッドホン出力端子** : ヘッドホンの1/4" TRS ケーブルを接続します。音量はヘッドホンレベル・ノブで調整します。



2. **INSTRUMENT 入力端子②** : 1/4" TS ケーブルで、ギターのパッシブピックアップやハイインピーダンスの信号を接続します。入力された信号は、LEDメーターに表示されます。
3. **+48V (ファンタム電源) スイッチ** : このスイッチで、ファンタム電源をオン・オフを切り替えます。オンの場合、トップパネルの+48V LED が点灯し、ファンタム電源がコンボ入力端子に供給されます。多くのコンデンサーマイクは電源を必要とします。お使いのマイクの説明書などをご確認の上、ご使用ください。

## NOVA Black マイクの使い方

### 接続方法とファンタム電源

NOVA Black マイクはバランスのとれた低インピーダンスの信号を出力します。ミキサーチャンネルのマイクレベル入力または専用の高品質のプリアンプに接続可能です。

すべてのコンデンサーマイクと同様に、NOVA Black を使うには電源が必要です。

NOVA Black のマイクを、+ 48V のファンタム電源（ファンタム電源はマイクからのオーディオと同じ XLR ケーブルを使用します）を供給するプリアンプまたはミキサーチャンネルストリップの XLR 接続に接続する必要があります。

スピーカーやマイクのようなコンポーネントを損傷する可能性のあるポップ音やサージを避けるために、マイクやケーブルを接続するときは、必ず次の手順を実行してください。

1. プリアンプ/ミキサーのチャンネルのゲインを下げてください。
2. プリアンプ/ミキサーのファンタム電源が有効になっている場合は、それを無効にします。
3. XLR ケーブル（付属）を使用して、NOVA Black マイクをプリアンプ/ミキサーのそのチャンネルに接続します。
4. プリアンプ/ミキサーのファンタム電源を ON にします。
5. プリアンプ/ミキサーのチャンネルのゲインを上げます。

マイクおよび/またはケーブルを取り外す前に、手順 1 と 2 を繰り返します。

### カーディオイド指向

カーディオイドは、最も一般的なマイクの指向性です。これは、マイクの背面が音拒み、エンジニアが信号源を他の性能要素または背景雑音から隔離することができるためです。マイクのロゴ側は表側です。

### マイクのメンテナンス

- NOVA Black マイクには絶対に物などで衝撃を与えないでください。
- スタンドに固定するときは、必ずマイクスタンドを使用し、付属のショックマウントを使用してください。ショックマウントの両側の金属クリップをお互いに押し、センター開口部を開き、NOVA Black マイクの底面をショックマウントの中央に通します。ショックマウントの中央に NOVA Black マイクが収まるようにしてからクリップを離します。
- NOVA Black のマイクは柔らかい乾いた布で拭き、使用の度にケースに戻し、ほこりが入らないようにしてください。
- NOVA Black マイクロをより細かく清掃する必要がある場合は、柔らかい布を水や家庭用石鹸で軽く湿らせ、外側をきれいに拭いてください。過度の湿気はユニットに損傷を与える可能性があるため、NOVA Black マイク自体には洗剤剤をつけないでください。

- NOVA Black マイクを濡らさなでください。ウインドスクリーンを使用し、唾液等からマイクを保護します。
- NOVA Black マイクを分解しないでください。内部はユーザーが修理できる箇所はありません。
- マイクの電子機器を損傷する可能性のある短絡を防ぐには、高品質のケーブルを使用してください。
- 35° C 以上、10° C 以下の温度は避けてください。屋内と屋外の環境で移動する際に振動板に有害となる結露が生じないように、NOVA Black マイクを気温差の激しい場所に移す場合は、温度を順応させてからにしてください。

## 技術仕様

### M-Track 2X2

全て 20kHz の周波数帯域で測定されています。仕様は予告なしに変更されることがあります。

マイク入力 1 (バランス XLR)	
周波数特性	20 Hz – 20 kHz (±0.1dB)
ダイナミックレンジ	104 dB (A-weighted)
S/N 比	104 dB (±1.0 dBu, A-weighted)
THD+N	0.003%
プリアンプ EIN	-128 dBu (max gain, 150Ω source, A-weighted)
最大入力レベル	+1.5 dBu
ゲインレンジ	55 dB

ライン入力 1 (balanced 1/4" TRS)	
周波数特性	20 Hz – 20 kHz (±0.05 dB)
S/N 比	101 dB (1 kHz, +4 dBu, A-weighted)
THD+N	0.003%
最大入力レベル	16 dBu
ゲインレンジ	55 dB

インストゥルメント入力 2 (アンバランス 1/4" TS)	
周波数特性	20 Hz – 20 kHz (±0.05 dB)
ダイナミックレンジ	100 dB (A-weighted)
S/N 比	102 dB (+ 4 dBu, A-weighted)
THD+N	0.004%
最大入力レベル	6 dBu
入力インピーダンス	1 MΩ
ゲインレンジ	24 dB

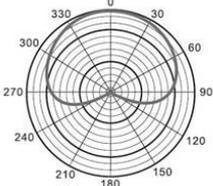
メイン出力 L/R (インピーダンス・バランス 1/4" TRS)	
周波数特性	20 Hz – 20 kHz (±0.06 dB)
ダイナミックレンジ / S/N 比	102 dB (A-weighted)
THD+N	0.005%
最大出力レベル	+7 dBu (1 kHz, -1 dBFS)

ヘッドホン出力 (1/4" TRS)	
THD+N	0.005%
Output Impedance	10 Ω

## 一般 I

電源	USB バスパワー
サイズ (W x D x H)	198 x 152 x 71 mm
重量	0.85 kg

## NOVA Black (マイクロホン)

タイプ	バック・エレクテット・コンデンサーマイク
仕様	ピュア・アルミニウム 18mm 口径ダイアフラムコンデンサーカプセル
指向性	カーディオイド  (at 1kHz)
周波数特性	20 Hz - 20 kHz
感度	-38 dB (0 dB = 1 V/Pa @ 1 kHz)
インピーダンス	200 Ω
最大 SPL	136 dB
電源	+48 V
S/N 比	77 dB
消費電力	3 mA

## HDH40 (ヘッドホン)

タイプ	密閉型ダイナミックヘッドホン
ドライバー径	40 mm
周波数特性	15 Hz - 22 kHz
感度	95 dB ± 3 dB
インピーダンス	32 Ω
イヤープッド仕様	Leatherette
ケーブルの長さ	約 3 m

## 商標及びライセンス

M-AUDIO は、inMusic Brands, Inc. の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。Mac や OS X は、Apple, Inc. の商標で、米国およびその他の国々で登録されています。Windows は、米国およびその他の国々において Microsoft Corporation の登録商標です。Kensington や K & Lock ロゴは、ACCO Brands の登録商標です。その他すべての会社名または製品名は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

---

M-AUDIO.COM